

■長塚節 歌人、小説家。長編「土」で自然と現実の描写の極北を示し、絶唱の短歌連作「鉾の如く」を遺して、早世。

ながつかたかし

琉球処分・・・1879＝ 茨城県国生村で、地主で県会議員を務める村の有力者の長男に生まれる。

明治14年政変1881＝ 2歳：

初の対等条約1888＝ 9歳：

帝国憲法發布1889＝10歳：

郡司千島探検1893＝14歳： 茨城県尋常中学校に入学し、 作歌に親しみ始め、

日清戦争始・1894＝15歳：

白馬会・・・1896＝17歳： ノイローゼとなって、中退。

八幡製鉄始・1897＝18歳：

子規句歌革新1898＝19歳： 正岡子規の「歌よみに与ふる書」に感銘、{新小説}に短歌を投稿し始め、

ヒノ国産化・1900＝21歳： 子規を訪ねて、根岸短歌会に出席するとともに、新聞{日本}に作品を発表するようになり、
伊藤左千夫と親交、

教科書疑獄・1902＝23歳： 子規没後は{アララギ}派の中心の一人となる。

日比谷公園・1903＝24歳： 伊藤左千夫らと{馬酔木}を創刊。

日露戦争終・1905＝26歳：

満鉄発足・・・1906＝27歳：

韓国反日暴動1907＝28歳： *写生文「佐渡ヶ島」、

アララギ創刊・1908＝29歳： *短編「芋掘り」など散文を手がけると、夏目漱石に注目され、

その懇請で、
韓国併合・・・1910＝31歳： *{東京朝日新聞}に唯一の長編となる「土」を連載し、写生の方法で農村の自然と現実を克明に描き、その極
北を示した。また肥料や炭焼きの改良を試みるなど、農村生活の向上もはかったが、

大逆事件判決1911＝32歳： 結核を発病、

明治天皇没・1912＝33歳： 「病中雑詠」、

漱石の紹介で九州帝大に受診、以後九州との間を往復していたが、

第一次大戦始1914＝35歳： 「鉾の如く」を発表し始めるとともに入院、

21ヶ条要求・1915＝36歳： *死に望んでの絶唱として完成させ、生涯独身のまま没した。